



令和7年度

1人1台端末を活用した授業改善検討委員会 (ItoI委員会)

〈委員長〉	柏市立大津ヶ丘第一小学校	佐和 申明
〈委員〉	柏市立柏第一小学校	桑澤 淳
	柏市立富勢小学校	中山 友紀
	柏市立大津ヶ丘第一小学校	小林 郁和
	柏市立柏第二中学校	相馬 匠
	柏市立逆井中学校	加藤 和也
〈事務局〉	柏市教育委員会 学校教育部	指導課

ItoI 委員会の方向性について

目標

- ・育成した情報活用能力を発揮し、**探究的な学びを見童生徒自ら実現していけるような自己調整力**を身に付ける授業をデザインする。これにより、柏市全体の1歩先を行く実践研究を創出し、周知を行う。
- ・1年研究を推進する中で、見童生徒にどのような変容があるか検証する。

実践

デジタル学習基盤を活用し、**ねらいを明確にした自己調整の場面**を取り入れた授業の展開。

ItoI 委員会の方向性について

R7年度版 柏市における1人1台端末の活用「柏市GIGAスクール」

柏市教育委員会

デジタル学習基盤による情報活用の飛躍的充実

情報活用の場面

- 収集
- 判断
- 表現
- 処理
- 創造
- 発信
- 伝達



飛躍的充実の場面

- すぐに
- いつでも
- どこでも
- 1人1人に応じて
- 大量に
- 誰とでも
- 何度でも



基本コンセプト

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる
～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本的な資質・能力を育てる～

教える場面と取り
組ませる場面



体系的に
育む



支える土台

・ICT支援員の配置 ・1人1台端末を活用した授業改善検討委員会の実践 ・柏市GIGAWebや情報共有掲示板にて情報の共有等

ノートや鉛筆のように
指示がなくても
自分で使う

Itol 委員会の方向性について

【バランスを大切に・学び方を学ぶ】

教師主体

子供主体

子供へ委ねる段階	1	2	3	4
課題	教師が課題を決める	子供に選択肢から選ばせる	子供が選択肢をつくり、選ぶ	子供が自分で課題を決める
過程	教師が意識して過程を回す	過程の一部を子供が回す	ほぼ子供の意思決定で過程を回す	全て子供の意思決定で過程を回す
形態 (個別・協働)	教師が誰とどう学ぶかを定める	過程の一部で誰とどう学ぶかを子供が決める	過程のほぼ全てで誰とどう学ぶかを子供が決める	全ての過程で誰とどう学ぶかを子供が決める
ツール	教師が何を使うかを定める	子供に選択肢から選ばせる	ほぼ子供が自分で使うツールを決める	子供が自分でツールを決める
空間	教師が学びの空間を決める	子供に選択肢から選ばせる	ほぼ子供が自分で学ぶ空間を決める	子供が自分で学ぶ空間を決める
ペース	全員同じペースで学ぶ	一部学びたいペースで学ぶ	子供がほぼ学びたいペースで学ぶ	子供が学びたいペースで学ぶ